京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

綠蔭漫語　△△生

▲中原の鹿を獲んとして獲る能はず、勁敵中島祐八氏をして戰捷の譽を博せしめ歸刀に杖つきて空しく敗軍の不名譽を嘆じつゝある鶴原定吉氏の胸中や果して奈何、總務長官就任以來碌々として何等爲すなく辛うじて靑淵翁の挽推に依りて東肥會社社長の任に就かんとしつゝある昨今俄然として政治的圈中の人となり比較的不うつりなる政治的色彩を强て求めんとする氏の感念や果して奈何、要するに氏は時流に擬んじ輿論に先ち猪嚇叱吒銳然として一世を動かす底の豪快男子に非ず、されはとて權謀縱橫術數百出一奇一正機に觸れて策を施し變に應じて計を樹つる底の策略家に非ず喋々敏巧悧餌々然として處世の方策に努め、縱々乎として榮達の慾望を期せんとする中に多少の氣骨を帶び幾分の覇氣を有する變則的人物に過ぎざるなり東肥會社々長は比較的氏に恰當するの地位議員競爭の落選は却つて氏に取つて幸福といふべきか

▲曾禰統監病漸く輕しと國事多端の折柄先づ以て大慶至極なり炎熘天を燒き烈暑地を熔かす折柄幸に病后の攝養に努めよ若し夫れ新協約の功蹟につき伊藤公に嫌焉たらず悒の情悶々たるものある如きに至つては却つて病勢を昂めん而已要するに敵は本能寺にあり焉幸に自玉加餐せよ

俳句

●●日曜吟●●　龍山すみれ會

▲第三回例會　芳春亭評

秀逸

行幸を拜した野路や風かほる　秋花
靑すだれ捲くや薄すら晝の月　取太郎
碁の暮や月這ひのほる靑簾　四樂
獨り居のひざ改めて新茶かな　淡水
放す手に暗を殘して飛ぶ螢　同
追はれ來て無暗に高く飛ぶ螢　秋花
拂はれてちよと飛迷ふ螢かな　同

再々考

螢曳り月にかくれて歩きけり　淡水
黃昏るゝ遠江を捲くや靑簾　天心
舟子呼ぶ江の宵暗や飛ほたる　取太郎

ハガキ文集

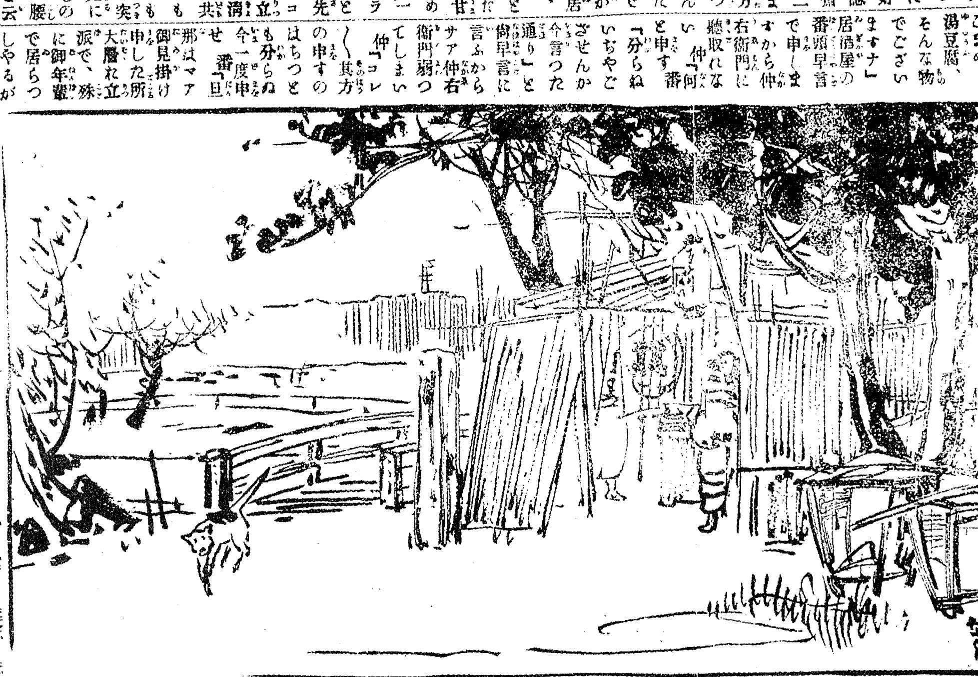
●●●●妹に代つて　靑楓

妹への寫眞ありがたく候。妹、大恐悦のほく〳〵顏で、來る人ごとに寫眞取り出しては、コレが會長さんなのよ、粹な方でせう、コレは久保田さんよ、素顏よりかも、此の方が余程、美人に見ゐるんですよ、それからこの方ね吉野さんと被仰つて未だ若いんですよ、寫眞顏よりかも、素顏が奇麗ですわ」などゝ、說明しては、ホヽヽと許りに得意な笑を漏して銷夏伴侶と致し居候。



第十二席　桃川燕玉演

尤も此内藏頭といふ御方は、ちよつと聞くと馬鹿げて居るが、なか〳〵御器量御宏大なお方でございました。勿論大名方があまり儉約をなさると、下々の者は實際困る、有る人がざん〳〵使ふから世の中は錢廻りが好くなる、工面の好い人が手を締めてちつとも使はなかつた日には融通が止つていかぬもの、此備前樣といふ御方は誠に生涯面白く御暮しになつた、至て御仲の好かつたのが雲州松江の松平出羽守樣の御隱居不昧樣、筑後久留米の有馬の御隱居雪齋樣、平素非常に御仲が好い、されば此御三方が或年雪見に御遠乘に御出立でございます、馬で乘切つて出なすつた、御家來方は驚くまい事ではない、ぞろ〳〵雪の降つてる中を、殿樣が馬の鼻づらを並べてざん〳〵乘立てる、上野の袴腰に出になつた時に、只今は大分あの邊に割烹店が門並でございまするが、其昔は澤山には飲食店が無い、圓に二引の風よけ障子を立廻し、居酒屋と申す極安直な飲食店が一軒あつた、内田と申して、其の門口へ御掛りなさると雪の降つてる寒い所にプーンと表へ香つたのが葱と鮪を煮ました香ひ、大分どうも甘さうな香が致したから、御三方が馬を止め　内「どうだ松江、大分好い香りが致す、一盞傾けやうか　不「宜からう〳〵」と、ヒラリと馬から下りなすつて内田へ入らうと云ふ、御近臣の中村仲右衛門といふ人が先きへ大小の中柄抱ゐ飛び込んで來て　仲「コレ〳〵番頭　番「入らつしやいまし」見ると立派な士、草鞋がけで入つて來た　仲「コ、淸らかな御座敷があれば案内いたせ　番「私共は此通り御覽なすつた丈の座敷、外にはもうござんせんから、別に汚いにも奇麗にも一室きりで……　仲「ア、困つたな」見ると突當りに太神宮樣の棚があつて、其下の處に疊が三四枚敷いてある、あとは皆切落しの土間で、醤油樽が幾つも並んで、それへ腰を掛けまして飲んだり食つたりしやうと云ふ　仲「イヤあの突當りへ御案内をしろ　番「いゝえ、いゝえ、あれへ通んなすつて……」番頭め聲を掛けた、ねたと云ふのは突當りへ出なさいと斯う云ふ。御三方はズツと正面の太神宮の棚の下の處へ陣取つた、仲右衛門が　仲「コレ〳〵番頭　番「ヘイ　仲「其方宅に鮮魚佳肴珍肴の類があるか」番頭怪訝な面をして　番「何と仰しやいます　仲「魚鮮佳肴珍肴の類があるか　番「何だか私にはちつとも分りませぬ、分りの宜いやうにどうか旦那仰しやつて下さい　仲「分らぬ奴ではないか、何か珍肴は無いかと云ふのだ　番「私共ではちんこなどは賣りは致しませぬ　仲「呆けた事を言ふな、其方は文字を知らぬ奴だ、其年になつて一文不通無學文盲、さて〳〵不愍な奴である、鮮魚とはあざらけき魚だ、新しい魚を云ふ、佳肴とは味よき肴、珍肴とは珍らかなる肴はないかと斯樣申すのだ　番「さうでございますか、さう仰しやれアもう一遍で分つてしまふ、珍肴だなんて仰しやるから些も分りはしない、有りますものは左樣でございますナ、さい鍋に蛤鍋鯲鍋に葱鮪、それと外には栗のれ浸し、芋の煮付鯡の煮たの、人参と蒟蒻の白あひ、照ごまめ、湯豆腐、そんな物でございますナ」居酒屋の番頭早言で申しますから仲右衛門に聽取れない　仲「何と申す　番「分らねいちやござせんか、今言つた通り」と御早言に言ふから　サア仲右衛門弱つてしまい　仲「コレ〳〵其方の申すのはちつとも分らぬ、今一度申せ　番「旦那はマア御見掛け申した所大層れ立派で、殊に御年配で居らつしやるが其御年で此位の事が御分りがない、困つたもんだ、御氣の毒樣で、旦那御學問をなさいませぬナ　仲「默れ、學問を致したつて貴樣等の言ふことが分るか呆けめ、先刻大分味のよい香が致した、あれは何だ　番「エ、あれは其の葱鮪で、香が高いから表へ匂つた、葱鮪でございます　仲「然らばそれを早く差上げるやう　番「へイ畏りました」論判をして居るうちに御供の仲間達は銘々もう酒の樽へ陣取つて　○「オイ滑公、上物ウ一升早く　△「ヤタお見ね江早く此方へ持つて來ねい　御供の方はガブ〳〵やつて居る。所へ其の番頭が、下駄の鼻緒が緩んで居りまする、拇指の先へまむしを拵へて此奴を引ずりながら、葱鮪の鍋を持つてやつて參りますのを仲右衛門が　仲「コレ〳〵何と云ふ持ち樣を致す、其方の口氣が皆鍋へ入るではないか、目八分に持つて參れ　番「目八分と申しますと……　仲「目から八分上へ上げて持つて參れ　番「冗談仰しやッちやア可ませぬ、躓いて頭へ引被つて御覽じろ、頭アから葱鍋になつちまふ　仲「轉ばぬやうに心付け持つて來い　番「厄介な客が舞込んで來た……へイ御誂へ」五德なりに御着坐をなすつて御三方が、鍋臺を中へ置いて是から一杯召上る。



京城新報

韓國に於ける外資

韓國に於ける外資と稱するも、清英米佛獨其他の外國人の韓國に注入したるものにして無論日本を除きたるもの也、日本の注入したる資本は余輩の見を以てすれば外資と稱するの適當ならざるを以て也、最近我同業ソールプレスの公にせし處に依れば此等外國人の注入したる資本の合計は四百五十二萬九千八百三十七圓也と云ふ、惟ふに此數字は幾分少額に計出せられ居るべく、余輩が外國人に就て確めたる所に依れば其放資額は七百萬圓を超過せざるべしとの事也、尤も興業銀行を通じて輸入したる多額の外資は無論之に算入せざる也、玆に掲出する韓國の外資なるものは個人的事業の經營に直接放下したるものなりとす。

抑も現世紀に於て列國が其國勢を他に向て表徴するの標準は其國民が他の邦國に對し放下したる資本の多寡を以てするが如し、眞に現世紀に於ては資本は大なる勢力也、此勢力たる資本を他邦に注入することの大なる丈け其勢力の扶殖も亦大なるは乃ち當然の事なりとす、而して韓半島に於ける外資は總て七百万圓に過ぎず、何れより見るも僅か七百万圓の資本は大なるものと見る能はず、然るに伊藤前統監の方針として韓半島の門戸を開放し且つ之を實行したり、而も外國人の利益に對しては特に保護する所ありしを以て、外國人は鑛山業其他の經營に就て極て便利を得つゝあり、斯く寛宏なる門戸開放の下に列國人の注入せる資本は僅に七百萬圓に過ぎず、是れ抑も韓國の産業が外資を誘引する丈けの價値なき爲か或は外國人に特種の事情ありて放資せざるが爲なるか、試に清國に於ける外資の狀况を見よ、列國互に競爭して資本の注入に腐心す、然るに借手たる清國は悠々として其利なるものを撰まんとするに非ずや、余輩は彼我の狀態に於て頗る懸隔あるを慨せずんばあらず、然れども韓半島も亦産業政策の宜しきを得ば將來決して望なしとは云ふ可らざる也。

現在の外資は僅々七百萬圓に過ぎざるも、是が過去に於て半島産業の開發に資する所ありしは決して少と云ふ可らず、而て今後外資を誘引せんとすれば外國人をして眞に安じて資本を放下せしむる爲に産業制度を完備せざる可らず、惟ふに我保護政治の進展に伴ひ漸次地方政治の改善せらるゝと共に産業の發展を見るに至るべし、殊に曾禰統監は産業政策を專にするとの事なれば漸次産業勃興し來ると共に外國人も自然安んじて放資するに至らんか、余輩は當局者が常に此心懸けを以て施設せられんことを希望するもの也。

東京電報

▲韓銀創立委員　韓國銀行創立委員は總數三十餘名にして內韓人は二名官吏以外は東京、大坂、京都、名古屋、横濱、神戸の主なる實業家より撰任する筈委員長は多分澁澤男なるべし

▲韓銀と民團貸付　韓國銀行條令中公共團体に對する擔保貸付とあるは居留民團に對する融通を意味するものなりと

▲牙山戰紀念會　二十九日夜星ヶ岡茶寮に於て第十五回牙山戰紀念會を開きたるに福島參謀次長以下出席し甚だ盛會なりし

▲久邇宮と米祝典　來る九月執行さるゝ米國ホドソンの祝典には目下御滯英中の久邇宮殿下を差遣さるゝことゝなる

▲東宮の北陸行啓　我皇太子殿下の北陸地方行（啓）は九月十日御出發のことに決定したり

▲總裁の遞相訪問　中村滿鐵總裁は三十一日岩手縣水澤に滯在中の後藤遞相を訪問し吉長線問題に關し打合せを爲すべしと

▲村田少將昇任　村田統監附武官は中將に昇任し築城本部長に榮轉する事に決定し近日發表さるべし

▲兩少將の轉任　少將石井早太氏統監附武官となり少將榊原正三氏は韓國憲兵隊長に任ぜらるゝ事に決定し近日發表の由（以上三十日午後發）

雜報

●軍部廢止發表

▲軍部廢止決議　李總理大臣以下朴內部、李軍部、高法部、閔宮相各大臣は廿九日午前十一時昌徳宮內の內閣に會合し卅一日を以て軍部を廢する事を議決し之に關する諸種の打合を了し午後一時散會したりと

▲軍部廢止詔勅　韓皇は卅一日を以て軍部廢止の件に關し詔勅を發せらるべし

▲親衛府長官　李軍部大臣は卅一日軍部廢止と共に親衛府長官兼侍從武官長に任命さるゝ事に決定したりと

▲親衛府官制　軍部は卅一日を以て之を廢止するに就き同日親衛府官制を發布する由其內容は全文六ケ條にて宮內府所管也

▲軍部廢止と將校　軍部廢止の結果將校四十餘名豫備に編入さるゝ由

▲恩給規程發布　別項豫備に編入さるゝ將校に對しては恩給を下賜する筈にて新に恩給規程なるもの發表さるべし

▲軍部重要會議　軍部にては三十日軍部次官、軍務局長、經理局長等の幹部員集會し廢止準備に關する重要會議を開けり（日本電報通信所報）

●新協約實施手續　日韓新協約は其の効力發生期日につき何等規定するところなきにより正式の手續としては其實施期日につき更に兩國間に協定をなさゞるべからざるも日韓の關係は斯る他人行儀をなすの要なきを以つて日本側に於ては準備成り次第實施期日を韓國に通牒し韓國側にては右通牒に基き勅令を以て裁判所及び監獄署を廢止する筈なりと

●韓銀總裁決定？　韓國銀行總裁は既に曾禰統監と澁澤男との間に交涉なり全行員凡て韓國銀行に採用すると同時に市原總支配人をも韓銀總裁に任用する事に決定したりと日通は報せり

●徵稅締功と成蹟　韓國政府に於ける昨年度の徵稅事務は本年五月を以て全く之れを締切りたるが今其實蹟を聞くに各稅實收總額千六十九万八千百九十圓にして豫算額に比し十七萬九千七百四十六圓の增收なる由

●大臣定例會議開會　去二十九日午前十時より李總理以下各大臣（李學相、任度相は病氣の故を以て缺席）登閣定例閣議を開きたり

●參與官と協約實施　卅日午前十時より統監府にて參與官會議を開き新協約實施に關する準備につき協議する所ありたりと

●謝恩使の派遣延期　伊藤太子大師歸朝後直ちに謝恩使を派遣する筈也しも韓太子東北巡遊の爲め延期せり

●統監病氣益良好　曾禰統監の病狀は經過益々良好にて兩三日前より來客に面接するを得るに至りたる由なるが朝夕邸內を散步し居れりと云ふ

●兒玉伯と監理官　荒井度支部次官及び兒玉統監府書記官は韓國銀行創立準備の爲め上京さる筈なるが兒玉伯は監理官に任命さるべしと

●暴徒討伐の計畫　全羅南道簦問附近には多數の暴徒集團し人心恟々たるものあるより當局者は近日中之れが討伐を行ふ筈なりといふ

●六月中葉錢の回收　六月中回收の葉錢は十萬九千九百九十六圓にして引上着手後累年の回收額は三百四十四萬四千五百四十八圓なり尚ほ市場流通の殘額は約一百萬圓强の見積なりといふ

●各道の教監會議　目下各道に於て管內普通學校教監會議を開催し居れるが會議の要項は從來の經過報告及將來の施設方針、各學校の訓練、教授監理等の打合せなりと

●私立學校と認可件數　韓國各道を通し私立學校數は約千五百餘私立學校令に依る認可件數は殆んど千にして目下尚出願の者三百餘ありと

●人蔘落札と清商人　人蔘を三井の手に落札せしめられしより清商等は大に狼狽し今後の方法に就き自國領事館に請願しつゝありといふ

●上半期産物輸出　韓國本年上半期に於ける輸出總額は七百一千六万五千七百〇五圓にして昨年同期間の六百六十九萬五千七百三十六圓に比して四十七萬〇四十九圓の增加を示せり其の主なる原因は昨年の人蔘輸出は僅に六百六十六圓なりしが本年は六十五萬三千四百九十四圓の輸出ありしに依ると

●司法權委任と非訟事件　司法權委任協約成立に就きては司法事務以外の非訟事件即ち登記、屆出の如きは如何に取扱ふべきやは議論の岐るゝ所なるが或者は今回の協約は司法權を委任せしのみにて斯る事務迄を委任せしものに非ずと稱ふれども元來非訟事件を裁判所にて取扱はしむるは司法機關運用の圓滑を期する爲めにて各國皆此制を採用せざるなきを以て韓國にても此點に關し特に研究をなすの要あり當局者に在りても之が考案中なりといふ

●會計檢査の執行　會計檢査の執行は目下着々進行中なるが既に執行濟の地方は京城は勿論平壤、海州、鎭南浦、仁川及び義州等の諸官衙なるが南部方面は來月始めより執行の筈にて菅田書記官出張すべしと

●中央銀行と農銀　韓國銀行の設立に就き農工銀行との關係に對して當局者の語るところを聞くに農銀は普通の商業銀行とは固より其性質を異にし手形の再割引と確實なる預り證券に依る動産擔保の再擔保貸付は中銀より融通を爲すに至るべしと云ふ

●來年度豫算編成　度支部にては三十日午後一時より各部の會計課長を招集し來年度豫算の編成に關する打合せを開きたりと

●金融界稍々好況　日本市場に於ける米豆の好況なるにつれ近時の輸出は頗に活氣を呈し輸入も又一月以來多額を占むる有樣なるを以て金融界も稍々好況に赴き各銀行は預金貸出共取扱高一般に增加したるが特に預金は著しく增加し銀行は皆確實なる放資の途を發見するに苦慮する有樣なれば從つて金利は未だ引下を發表するに至らざるも弱含の狀を呈せりと

●貯金奬勵と方針　過般開催したる觀察使會議に於て一般人民の貯金奬勵に就き各觀察使の意見を徵したる處人民は高利の貸付を望むと且つは郵便所等も郡內に一ケ所若しくは二ケ所に過ぎざる有樣なるを以て此際貯金機關の設備を要求したる由なるが當局者は其方針に則ると同時に一方人民に說諭して貯金を奬勵する方針なりと云ふ

●大審院存否說　帝國憲法には日本臣民は法律に定められたる裁判官の裁判を受くるの權利を奪はるゝことなしとありて人に關する規定あるも憲法に及ぼすべき効力に關する條文なき爲め曾て臺灣にありても問題の起りたることあるが今回司法權委任の結果我陛下の御名に依りて裁判權を行ふ日本裁判所の運用法は日本の形式法にして適用すべき法律は日韓の舊慣法なり故に法律事務統一を要する上に於て我大審院の外更に韓國に之に類するものを置くは不可能にあらざるかは法曹界の問題となれる所なるが結局之を存置せしめざるべしといふに一致せるが如しと日韓通信は報せり

●清國密漁船の引揚　清國密漁船の密集せる黃海道方面は其后當局の嚴重なる取締により漁業の期節殆んど經過したるを以て全く其影を見ざるに至りし由なるが清川江河口に在りたる根據地の如き從前は純然たる一市街たりしも其筋の說諭に依り全部引揚たりと云ふ

●豫算と賦課徵收　九月一日より實施さるべき地方費の稅目及び稅率は觀察使に於て之れを定め而して豫算に編成して內部大臣の認可を受け之れが賦課徵收は財務署の手に於て爲し其徵收金は觀察道に渡して公共事業に支出すべきものなりといふ

●漢城府の事務遲滯　漢城府にて取扱ふ土地家屋證明等に關する事務兎角捗々しからず斯る證明を乞ふものは多少切迫せる事情あるもの多きを常とするに餘りに遲滯せしめらるゝ時は金融を沮害さるゝこと少からずとて頻りに不平を唱ふるものありと

●新義州益々增水　三十日午前一時其筋への來電に依れば三十日朝再び增水市街殆んど浸水したるも製材所其他無事なりと

●軍用道路速成　間島問題益々穩かならず羅南の兵營建設も直ちにその工事に着手せらるべき筈なるに清津港より通ずる道路は僅かに人馬の往來をなすに過ぎずして全然軍用品を初め建築材料一切運搬する能はざるを以て間島の守備に當れる齋藤陸軍大佐より內部土木局に向つて來る九月中旬迄には是非共工事を竣成されたき旨申し來り統監府に於いても軍司令部と協議の結果經費の多少を問はず成るべく短期一日も早く速成することに決し土木局に於ても先きに比田技師出張し調査を終り速成の目込あるを以て兩三日前統監府と經費の交涉をなしつゝあれば協議纏り次第比田技師出張工事に着手する筈なりと

●商務組合の調査　京城商務組合所にては二十八日十三道に向け組合員を派遣し人

●韓國鐵道方針決定　韓全國の鐵道は將來如何にすべきかに付き日本政府も少からず頭を惱し既に屢ば閣議に上りしも、議容易に決せざりしが、此程に至り漸く大体方針決定せられたりと云ふ內容の概畧は先づ統監府官制を改正して韓國鐵道事務を滿鐵會社に委し同會社は又定款を改め、名を滿韓鐵道株式會社と稱し、後藤遞信院總裁の直轄下に置く事に決定せられたり、去れば同會社は又々一大增資を決行し、從來の韓國鐵道を全部買收するのみならず更に來春より京元（京城元山間）鎭平（鎭南浦平壤間）鳥全（鳥致院全州間）及び群木（群山、木浦間）各鐵道の布設經營に着手することとなりたり而して內閣に於て此議定まるや、直に統監府の大屋鐵道局長に秘密上京せしめ且つ內意を含めて至急之れが調査準備に着手すべく嚴命したるが、右官制及び定款改正の發表は、其調査終了後九月上旬頃に於てせらるべき豫定なりと東都の有力なる新聞は報せり

●南山本願寺說教　三十一日は土曜日につき午後八時半より例の通り說教あり

●市原總支配人上京　既報の如く市原韓銀總支配人は東京に於て來月三日開會の總會に出席の爲め卅日朝南大門發上京の途に就きたり

●中桐技師の南韓視察　西部土木局中桐技師は南韓に於ける道路の現况視察の爲め先頃來出張中なりしが馬山、木浦、群山地方を經て來月十日頃歸任の筈なるが羅南、清津間工事速成の爲め都合により近日歸任すべしと

●若林總監病氣輕快　病氣引籠り中なりし若林警視總監は余程輕快に赴き明日頃より出勤すべしと

●墺州新聞記者退京　墺太利ニュージーランド新聞記者ショネス氏は二十九日退京釜山へ向ひ出發したり

●韓國の製紙事業　閔泳韶、金嘉鎭氏等が近頃計劃せる製紙會社に就き某專門家の云ふ處に依れば韓國にて製紙業を起せは果して成効し得べきや否や甚だ疑はしきものあり其原料なる楮樸は高價に過ぐると供給の永續し得るやを疑はざるを得ず又稻藁は假りに豐富なるものと見做すも苛性曹達及洗粉等の材料を充分に供給し得らるゝとして一箇月一臺の機械を以て製造したる印刷料紙は三十萬封度なるが此製産品は果して韓國に販賣し盡さるべきか若し又之れが滿洲及び北清方面に得意先を見出し得るとするも動力に高價の石炭を要する上に技師技手職工等は悉く日本より傭ひ入るゝにあらざれば到底成功し得ざるを以て其給料手當等に多額の費用を要すべければ收支の計算は到底償はざるべし云々と

公人私人

●判檢事の任命

任檢事（奏任四等）
警部　藤村源太郎
法部主事　石橋養夫
同　鹽野良晴
警部兼內部主事　北村直甫
裁判所書記　長濱三郎
裁判所書記　松原正記
同　松野採次郎
同　室壽一郎
任判事（奏任四等）各通

▲北村八州仙（春川警察署長）新任の同氏は二十九日赴任
▲今村鞆（江原道警察部長）浦尾へ投宿中同日歸任
▲藤原八十八（同翻譯官補）同上
▲中江喜太郎（步兵二十三聯隊附步兵大尉）浦尾へ投宿中同日平壤へ
▲鈴木次郎（殺寧憲兵分遣所憲兵中尉）同日釜山へ
▲岸井辰雄（東京市辯護士）二十八日入京三日月

近事片々

▲韓國鐵道の所管に就ては祖國內閣にも種々なる議論湧出せりと聞く左もあらんか
▲結局後藤男の主張通り南滿鐵道に合併鐵道院監督の下に置く事に粗ぼ決定と聞く
▲是れ後藤男の提唱に係はるも桂首相の最も望む所故に其折合至極圓滿に運べりと
▲右に滿韓鐵道の實權を握り左に東拓を監督一面統監を左右するに至らば桂侯万歲
▲更に此三方面に部下の腹心を配置すれば政友會の天下となるも此勢力に栖付けじ
▲太郎宰相の得意思ふべし今年や南瓜の當り年に非ずして全く以て大頭侯の當り年
▲伊公頃者東京に於て語て曰く來年夏は一度韓太子を歸國せしむるを約し來れりと
▲親子の情さして太皇帝の太子を見たきは尤も本年夏は東北の見學に出懸るなりと
▲來夏太子歸國の際は歸途滿洲及北韓を巡遊する積と是敢て太子の見學のみならず
▲伊公の韓皇室に於ける信望愈々高し統監辭任するも尚韓國の爲に盡さるの意あり
▲韓銀總裁には美濃部君の說高かりしも近者亦市原君の說あり何れが夫れ適任にや
▲市原君は韓國の事に經驗深し此點に於て美濃部君に優る所有茲暫く中に判明せん
▲韓銀創立委員は韓國にあるものにては荒井兒玉の二人は無論任命せらるとは異乎
▲創立委員には唯役人のみなるか韓國在留民よりは之を取らざるか甚だ訝しき事也
▲諺に商賈は其道によりて賢しと韓國に對する智識あるものを加ふるの必要極にあり
▲露國にてはウイッテ伯極東政策に就て重要の使命を受けたりとは果して眞なりや
▲ウ伯極東政策の鍵を握らば多少露國の極東策に一新生面を開き來らむ刮目に價す
▲西澤島問題行惱今は反對に清國側より清國人の損害十七萬圓を賠償せよと申込む
▲獨亞銀行の仕打に付き米國抗議を清國に申込む攝政王甚だ憂悶すと左もありなむ
▲小林孝子はいつか知らぬ間に田中老伯と結婚を濟し岩淵の別莊にイチャ付き居る

▲韓銀の組織（東京電報）　韓國銀行の組

▲營林廠延納許可　統監府　營林廠の木材又は製品賣拂代金二三百

●木浦の生産物陳列　木浦理事廳にては全南に於ける生産物の標本を蒐集し之れを受くる由なり

●漢城新報の擴張　漢城新報は今般社務

●罷業車掌の懇親會　過般同盟罷業をなしたる韓美電氣の車掌連百三名は去二十九

●暴徒巨魁逮捕さる　全南に於ける暴徒の巨魁金聖三は去二十八日廣州郡の屯地に

●長崎滿韓視察團　長崎商業會議所主催「長崎市有志滿韓視察團」は來る九月來韓す

▲相談の相談▼（何んでも御相談に應じ升）

◎問　私は之れ迄内地で果樹の培養をして居りますが今秋からは京城附近で桃、ブドウ、苹果、梨等を培養致し度存じます就ては目下斯業は大發展しつゝある由なるが未だ六年先きにて結果するものばかりで[illegible]全体朝鮮人はかゝる高價のものは餘り食はないであらうか目下該國で結果して居る果樹は何々であるか右目下御承知の市價一々御知らせ被下度（京城エスシイ生）

◎答　當國に於て結實せる果樹は自然生の栗を以て第一に推すべく其の他に至つては其に少額にて悉く内地に供給を仰ぎ居候林檎も少々は産するものゝゴリ〳〵のものにて水蜜桃の如きは産出皆無に候へば有望と申すべく在來の果樹園を見乘て迄の價値は無かるべく併し當地の[illegible]御承知の通り乾燥の土地なれば結實は充分の機に存じ候折角の御依頼に付き市價等は目下調査致居候（係）

◎問　私は酌婦をして居ります不仕合せの女ですが此の頃韓國人に馴染が出來まして其の人が女房に成つて呉れと云ひ私もモウ此な稼業は嫌だし成つて呉れと云ふ私も然う仕様と思ひますが一体支那人の女房なぞになつたら人に笑はれましようとも思ふて考へ中ですが相談します（原文平假名ずめ）

◎答　此れ芽出度う、誰れが笑ふものか、日人の共有物であるからには韓國人の女房が結婚、序に云ふが此度一考へものだが、夫れが此度一國領事館へ正式の手續をして呉れると云ふことを條件に附けなくては國に妻子のあるやも知れませぬから不可ないよ（係）

●酌婦誘拐者捕はる

▲太平町八重咲の抱へ女は一滴の涙あり

仁川新町二丁目鈴川ド宿屋へ去る廿六日京城本町一丁目入屋森脇伊助方雇人岸部字吉（十）及び廣島市生れ中島玉代（十九）の兩人は投宿したるが仁川署刑事は其の擧動に不審を抱き取調べたる所端なくも誘拐犯人なること判明したり今其の顛末を記さんに前記玉代と云は太平町一丁目飲食店八重咲の抱へ酌婦にて程の美人なれば梅井辨護士の書生等の曳く手數ある中に本町支那領事館通りの質店[illegible]抱ね込みたる[illegible]

南某の弟本田と云へるが腐魂惚れ込み僅かの間に千圓を使ひ果したるより兄の南は弟の放蕩に愛想を盡かし仕送りを止めたれば本田は以前と打つて變り明日からは食ふにも困ると云ふ有樣になりければ玉代も氣の毒に思ひ自分故かゝる事になりたれば充分の世話をなすべしとて時々小使を送り居たるがかくては何時果てしも盡かぬよりイッソ鞍替して少しにても金を作らんとて去る廿一日前記森脇方に至り相談をなしける際傍に居たる雇人岸部が忽ち野心を起し甘言を弄して前借を踏み倒し澤山の手取りに致さすべしとて仁川に來りたるを折惡しく刑事の爲めに押へられ岸部は直に起訴されたりと

●賭博官吏の榮轉

▲官紀振肅が聞て呆れる

強記なる讀者は記憶せん去る六月二十五日の夜三時頃南山町二丁目百五十四番戸本間忠三郎方二階八疊の間に於て四名の男と一名の婦人とが車座を作つて賭博の眞最中を巡査に踏み込まれたる事實は越へて廿九日の本紙上に掲載したり、然るに五名の中に度支部司税局詰事務官にして吉田政治と云へる男ありたり身は立派なる高等官の肩書を持ちながら斯かる犯罪行爲を敢てしたれば例令警察は説諭で濟みたればとて苟も高等官が判任官の警部から説諭を受けて其れで事濟みとなるべき筈なく間もなく彼れは免官となりしやに聞き及びしに焉ぞ知らん奏任四等たりし彼れは一昨廿九日の官報を以て奏任三等に昇進し財務監督局事務官に榮轉を命ぜられたり博奕を打つて警部の説諭で牢へ這入る丈けを漸く免れたる男が昇進するとは流石は韓國式宮紀振肅も甕もあつた者でなし斯かる輩が地方の役所へ赴任したら其れこそ部下の役人は收賄や博奕を常業とするに至るべし、嗚呼

●附馬の置去り

大和町一丁目三百六十五番戸大工職矢野米三郎（六十）は一昨二十九日午前八時頃より午後四時頃迄櫻井町六十五番戸の三飲食店大田垣総八方に於て同家の酌婦を相手に三圓十錢の飲食を爲したるに懷中無一文の爲め同酌婦及同家の娘某を附馬として同家を立ち出で自宅近所に至り一寸待てと二人の附馬を殘し置きて其儘姿を匿したるにぞ置去られ附馬は口惜しさに不取敢南部署に訴へ出づ

●懷から靴三足

一昨廿九日午前三時四十分頃南部署の川副巡査が旭町一丁目

巡廻中民團役所北側に於て南大門通の道路より早足にて來掛かる怪しの男ありければ呼止め取調べしに件の男は隙を伺つて逃走したれば同巡査は愈々曲者と直ちに追跡して同町別府組人力車駐車場前にて取押へ南部署に同行し取調べし處此男は滋賀縣神崎郡八日市町字辻村六十四番地平民高田晋次郎（四十五）なるものにて懷には短靴三足を匿し居たれば留置の上引續取調を受け居れり

●鴨綠江岸浸水

鴨綠江に於ける增水は去二十八日午前十時頃を以て最高とし其後漸次減水の姿なるが同日午後六時其筋へ達したる電報に依れば引續き減水の方にて商市街及韓人町は今尚舟筏を通するも新市街及淸國人町は舟筏を通せざるに至り上流江界中江鎭は只今電信開通し增水の模樣問合せ中なりと尚又罹災民に對する炊出及給水は都合よく運びつゝありと

●暴徒邦人を慘殺

去る二十四日京畿道揚州郡金谷に於て邦人二名暴徒の爲めに慘殺されたる旨其筋へ情報ありたる由なるか或は暴徒の誘拐を受けたるものならんと云ふ

神經痛の爲め此程廢業し目下當地に休養中なる花月樓のぽん太即ち長唄の芳村伊三松事矢崎マツ

●西部管内の炭疽病

去る廿八日午後五時頃西部管内藥峴巡査派出所を去る約二丁目の西側廐舖に通ずる道路に於て韓人所有の牛一頭斃死せし爲め其筋に於て檢案の結果炭疽病と決定せり

●これも茶拍子の踊國

新町遊廓淸月樓第一の流行妓れも茶事福島いく（二二）は二百六十五圓の借金を仕拂ひ原籍横濱市與金町二丁目十九番地の自宅へ歸る

●田中時計商會落成

本町三丁目なる田中兄弟時計商會にては先月來店舖新築中なりしが今回宏壯なる石造家屋竣工せしを機とし時計其他の貴金屬美術品等を夥敷輸入して一層業務を擴張し且つ非常の廉價にて販賣する由

俳優評判記（一）

姫廼家きみ子

京城座は既に百餘日を打續け歌舞伎座又既に拾數日を打ち尚は引續き當分常打ちの心算だそうな、兎に角此暑さを押して藝術の爲め奮闘すると云ふは豪氣な者だ、そこで自分も一つ奮發して大に評判記を書いて見やう但し評判記と云つて强ち褒め倒すと云ふ譯ではない氣之毒でも構はぬ隨分皮肉つて見る積りである、先づ第一番に歌舞伎に立て籠れる彰義隊一座から初めよう、此

座は二三を除くの外は京城では初舞臺の者多く隨て馴染は少ないが新進の腕利き打揃ひ目覺しく活動して居るは嬉しい、先づ座長の愛澤正彦、是れは四年前元の京城座へ故淸川麗水と共に來り當時流行初めのオセロ、ハムレット、フランチエスカー杯を演して非常に人氣を博した好漢である爾來南滿各地、英領香港、滿洲邊を巡業する事四星霜、年漸く長じ技藝又大に老熟した、此閙演つたハムレットの年丸杯は尤も好く嵌つて居たが淸川の形を大分眞似て居たようだ、一体此優は上背が高く其れに變裝が餘り巧みでないのと調子が一本だから役の變化には乏しいか熱誠實に溢るゝばかりで向き〳〵の役を取りさへすれば現今の新派劇界に立て確に一家を成す事が出來る。

演藝

▲歌舞伎座　彰義隊愛澤一座本日第十一回目替り狂言は「五柳軒」全六場にして役割左の如し

女房れ兼（西井）學生吉田（本田）矢場れ花（桂木）勝見國夫（河野）五柳軒專犬山丈五郎（角村）大工三吉（玉川）女房れいも、刀屋新兵衛（中村）學生貴田（大和）大工甚五郎（間宮）勝見少將（松村）深津書生高橋銀六（小谷）娘竹子（小神）矢場女百々江（天草）深津中將（愛澤）矢場女しげよ（三島）馬丁金太、糸屋惣兵衛（美崎）鳥差傳吉（篠崎）馬丁禰吉（川上）

食道樂

▲アイスクリーム　君達のことだから一盞三錢のか杯と冷評す可らず煮たり燒いたり仕た物は格別此の種の物は安物買ひは斷じて致さず講中を作つては京城ホテルから取り寄せて賞玩する敢て通を振り回すことは致さぬが此の家のなら貴紙讀者諸君に推奬して憚らぬ、然も云へば出前の際はコップやサジを忘れぬ事と容器をモ一段御工夫あらんことを願ひ奉ると申し奉る（大和町の住人投）

◀平　民　文　庫▶

▲此の種の投書を歡迎す

▲妾は花でも服地でもリボンでも何でも白な好みます、此れに次では水色、海棠、ヒツトキ、銀鼠、鳩羽鼠なぞを好み總して淡白したのが宜しい其爲でしようか西洋草花は多く嗜好に適しませぬ（友枝子）

▲早起して東籬に嬌艶を矜れる紫陽花に對して色彩の變化を樂み見る、他は此れを守操固からざる彼の娼婦の亞流を以て目するも、焉ぞ知らん此れ彼れが守操の堅固なるを證しつゝあるものなりとは、變化は彼れが使命なればなり（みどり）

▲京城本町八丁目近所に在る弓打綿製造所は面裏にて弓をならし綿を製造致し居升故古綿を賴み候遠綿はなる程他店よりも上等に出來升が直段が他店よりも十錢高價で直段を他店通りに五十錢に致したら尙々人氣增し商賣繁昌だが直段を下げなされ綿を賴み升（南山一家人）

▲穴探生さんよ、成程饑饉旺盛は振つた文字なるも夫

マルナイド　藥材　新屋根　京城永樂町　藤原支店　電話八九番

▲報告終り、と附け加ふ可し（同人）▲井口藥店整理上結果、再び開業す（同人）▲報告終り、と附け加ふ可し

る小便無用の貼札がある君子自重は用語が綺麗だ（通行人）▲旭町一丁目別府組の○さん廿九日の晩のれ樂しみが過ぎた爲か三十日朝歸りの顏の色つたら無かつた（實見子）▲本町七丁目の鰻の釣堀りの貼紙に曰く「じひいきまで十せん」は振つて居る（ウフヽ子）▲

暑中休暇に歸省する兄姉を迎ねんとて停車場に其親に伴はれし弟妹の嬉々として列車を待つ其眞情こそ天眞爛熳とこそ謂ふべし父母兄弟團欒の下に月餘を過す外無趣味極まる此地に於て其歸省子弟の爲め何か好手段はなきか小僧君如何でしよう（一武士）▲れ互ひに一つ考へましよう本年に限つたことでもないですから（小僧）

▲北米倉町の○○質店の窓の下に此處へ荷物など置くと直ちに告訴する（校正係）▲弄花官吏吉田政治は免職されたことゝ思つて居たら財務監督局事務官に榮任だけで相濟みだ翠玉を握られてる上長官があるのだらう（巴女）▲往年或大架橋工事の資金を融通せられ都合能く落成したので御禮旁數百圓を包み某支配人に呈した所が某氏は快く其れを受取り好意は謝すと其袋紗丈を取り内なる紙幣には一顧も呉れず其儘返却されたので其受負人は某氏の高潔に感じ一言もなく懷中に收め歸れりと其武士的なる我々の尤も敬愛する好支配人は此度或は此地を離れらるかも知れんので我々は心細く感ずるのである（一武士）▲本町二丁目の高木と云ふ雜貨店の朝の早いのには驚く五時には店の飾り付けが濟んでる（ビックリ生）▲漢城病院の裏手の板塀に「君子自重」と傍書がしてある

●紳士の遊興振

右は紙面の都合に依り本日休載

天氣豫報（自三十日午後六時至卅一日午後六時）

南の風晴後曇

廣告

公告

一金一百圓也

右ハ關稅總長永濱盛三殿及同令夫人ヨリ同夫人ノ母堂死去ニ際シ贈與ヲ受ケラレタル香料ノ答禮ニ代ヘ本願寺内行旅病者收容所ヘ寄贈相成候條此段公告ス

明治四十二年七月三十日

京城居留民團民長　熊谷賴太郎

行旅病者收容費ヘ

記者募集廣告

中學校卒業以上の學歷を有し文章に達者なる人一名支局員として採用したし希望者は履歷書に自作の文章を添へ郵便にて至急申込まるべし

株式會社　日本電報通信社　京城支局（旭町二ノ一三三）（電話一〇七〇番）

三島韓國一銀國支配人國庫局長に營業局長には同銀本店より出納總務の兩局長には大藏省官吏中より推薦すべしといふ

[illegible]以上の者は一ケ年以内延納を許可する[illegible]

[illegible]陳列し產業狀況を一般外來者に[illegible]發展せしむる設備をなす由にて已に其筋に着手したるが標本の寄贈は悦んで之れを[illegible]べしと

[illegible]爲め元大韓每日申報記者李[illegible]氏を招聘し八月一日より紙面の改良を行ふ

[illegible]東大門巡花洞内に集合し懇親の名を以て[illegible]會社に對する方針及び善後策に就き打合せする處ありたりと云ふ

[illegible]に於て遞報[illegible]

●大韓山林協會總會　[illegible]協會にては臨時總會を開きたりと[illegible]二十九日大韓山林[illegible]

●配達出張　[illegible]其他釜山、京城、仁川、平壤、鎭南浦、本大、遼陽、大連等なりと[illegible]午後七時三十分

▲無料紹介欄▼

人事部

●中等教育有る廿七の青年報酬多きを不望會社、商店に雇はれたし 氏名在社（三〇一）

●年卅五多年電氣工務（又簿記精通）の經驗有り市内保證人有り相當處に雇はれたし 氏名在社（三〇二）

●被雇度 簿記に精通の中等教育ある二十才の青年會社銀行店舖等被雇度給料不望保證人あり 氏名在社（三〇四）

●小僧入用 十四歳以上十七歳以下のもの一名至急入用委細面談 大漢門前遠藤洋服店

●下女入用 十六七歳より廿三四歳迄のもの數名入用 南大門通 紅 藥

●行商人募集 石油行商人二十五歳以下身体强壯志想堅實勞働を厭はず忍耐力ある者本人來談 龍山元町三丁目韓組（三〇七）

●英文代書 通譯應需 本町一の七五中村

●商品販賣員募集 午前十時前希望者本人來談あれ 本町一、三巴酒店裏武田質店（四一〇）

●被雇度 年廿九市内に確實保證人有韓語に通す不問職業被雇たし 氏名在社（四一三）

●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし 氏名在社（四一二）

物件部

●電話讓渡 格安又は月賦讓渡の相談に應す 氏名在社（三〇〇）

●雄機械廿臺○繩燃機械○藁打機械一臺安價に賣却す 大和町一の二一九 渡邊方山本

●中古寫眞器一揃一個格安に賣却したし 氏名在社（三〇六）

●地所賣却 第一銀行建築場に接近せる大道目貫の場所に有望なる地所家屋賣物あり 本町一の七五 中村

廣告

●醫士開業向貸家あり 本町三丁目 贊化堂藥局（四一二）

●簿記學生徒募集

本校教授科目 商業會社銀行官廳鐵道 工業農業鑛業家計貿易數學英語日語

●入學年齡十五歳以上四十五年以下

本校卒業生學事優等者は商店會社官廳等の各方面に就職上の特典あり

●志願者は至急申込るべし呈校則

京城太平町太平湯の處に在り

漢城高等簿記學校

東京產婆學校卒業

產婆 莊野キヌ

龍山十五間道路 鐵道官舍十六號一



卸 小賣

京城本町丁目

富士の里茶舖

電話九七九番

解雇廣告

京城支社外交員

飯野淺成

右不都合の廉あり昨日限解雇す

七月廿八日

滑稽新聞京城支社

明治廿年七月創立

東京火災海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓

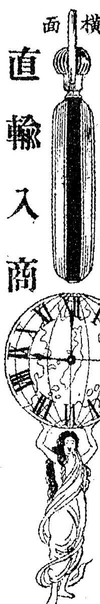
京城代辦店 本町四山口呉服店 電話九番

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

新築落成御披露

弊店儀各位の御引立を蒙り日に增し隆盛に趣き從て家屋の狹隘を感じ候に付過般來新築中の處愈々落成仕候間擴張と同時に店務の改良を爲し各種時計其他美術品等最も嶄新なる流行形直輸入し特別廉價を以て御需用に應じ候條多少に不拘御用命の程奉願候

各國時計美術品



橫面

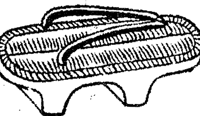
直輸入商

京城本町三丁目

田中兄弟時計商會

（電話一一五七番）

東京



本店東京

京城大和町一丁目の出橋横

藤井出張店

正札付 大安賣

厘も引なし

安心して買へ升

店舖御望の方は造作附讓たし

移轉に付き

メチヤく大安賣

廿四日より當分の內壹足に付定價の

一圓引

御賣は特に御相談可申上候

京城本町六丁目

富田第一支店

中元大賣出し

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

水上商店

和洋酒、◎精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、菓糕、壜辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

（電話二五一番）

夏物見切反物出張販賣

期日七月二十五日より

巴城館に於て

◎商品種目

一島絽羽織地及着尺薄物 一伊勢崎名仙

一單帶 一單男帶 一博多及絽九寸

一本塲結城紬 其他

謹啓陳者暑氣甚しく御座候處各位愈々御清適に被渡奉大賀候却說弊店義先年錦地へ出張の砌りは非常なる御厚配を蒙り難有奉謝候就ては今回目下流行の新柄夏衣各種持參仕候へ共時機遲延の爲め見切品として極々安價を以て販賣仕候間御買上の有無に不拘是非共御一覽の榮を賜り度候

追て品物は電話其他にて御注文次第直に持參御高覽に可供候

東京市日本橋區本石町三丁目

ちゃぶや事

關根呉服店出張

（電話本局三九六）

土耳古金口莨

太巻特製品大賣

●賣出期間 明治四十二年七月十五日より同年九月十五日まで

●抽籤日 同年九月二十日

●景品引替期間 九月廿一日より十月卅日まで

●本景品券は百本入壹個に付一葉を呈す

一號太巻インペリヤアル 一圓四十錢

インペリヤアル 一圓

黑巻スポート 一圓十錢

景品目錄

一等 額面金貳百圓勸業債劵 一個

二等 金側時計 一個

三等 二枚續白毛布 一個

四等 ブドウ酒（一打入） 一箱　五等 金口莨（百本入） 十箱

六等 コーヒー道具 一組　七等 信玄袋 壹個

八等 バスケット 一個　九等 手提文庫 一個

十等 婦人レース 一枚（以下空籤なし）

トルキー、サモス、ヂー、ジエチン會社

トルコ煙草商會

特約店

本町六丁目 岡野洋物店（電話五七一番）

本町二丁目 辻屋本店（電話二四八番）

本町三丁目 辻屋支店（電話三六六番）

營業科目

諸官衙御用品調達

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

各學校御用品調達

委託販賣

東京ランバーグ商會代理店

東京中外アスファルト株式會社代理店

東京千代田生命保險相互會社代理店

藤田合名會社

東京博文館發行書籍特約店

東京金港堂發行書籍特約店

釜山臺鹽合資會社食鹽特約店

本社 京城明治町二丁目 電話一三〇番

出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

夜店御披露

塲所 長谷川町一丁目通り

盆栽を主とし其他各種陳列候に付納涼方々御出向被下度候

來る八月一日より毎夜開店仕候

尙出店御希望の御方は長谷川町繁榮會事務所（電話千日十四番）へ至急御申込被下度候

明治四十二年七月

長谷川町繁榮會

元祖 消毒殺菌牛乳 京城大和町壹丁目 平山牧塲 電話一三三

◎氣候變化＝牛乳

◎牛乳＝純良＝消毒

韓國畜產株式會社

南大門外（電話八八番）

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切さを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戶橫小路（元花屋跡）

▲懇切の下宿▼

かめ屋

日本郵船株式會社

仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番

郡回漕店

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 八月一日午後三時

●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 八月五日正午時

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 八月十七日午前四時

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 八月廿六日正午

●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 七月

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲一ヶ年…

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢…

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太

發行所 京城新報社 京城西署西小門通 電話六六三番